

2010年6月6日（日）南日本新聞

ひろば・社説

2010年(平成22年)6月6日 日曜日

南 日 本 新 聞

希望を捨てず 4度目の手術

無職 坂之上 勝(65)

私の次女は、5月17日、4度目の脳腫瘍手術を鹿児島大学病院脳神経外科で受け、手術は成功しました。

1997(平成9)年、長女妊娠でてんかん症状が現れ、看護師の長女の助言で奈良県から鹿児島に帰り、鹿児島市立病院で1回目の手術を受けました。

その後、本人の弁によれば全然予想していなかった2回目の手術を、2005年に大阪府の八尾病院で受けました。これは1回目の手術後、奈良県で診療を担当された先生が八尾病院に異動されたためです。3回目は東京から鹿児島に帰り2年目の08年に、鹿大病院脳神経外科で手術を受けました。

今回投稿したのは、脳腫瘍と診断されても、内容にもよるでしょうが、希望を捨ててはいけなさと皆さまに知っていただきたいかったためです。

鹿大病院には、ITカルテというシステムがあり、カルテ、投薬、MRI写真など何時でも自宅のパソコンで見られるシステムがあります。今回の手術では全員の信頼を大学の先生方に寄せ、手術は成功でした、と言われました。

(鹿児島市)